

2024年8月9日

関係各位

医療法人惇慈会
日立港病院
日立港病院介護医療院
院長 末永 仁

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表に伴う対応について

2024年8月8日夕方、宮崎県日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。これを受けて、気象庁は8日、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表し、日立市は、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度4、最大津波3mの大きな被害が想定される「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。

南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられており、最大規模の地震が発生した場合、関東地方から九州地方にかけての広い範囲で強い揺れと、関東地方から沖縄地方にかけての太平洋沿岸で高い津波の発生が想定されています。

特に、今後1～2週間程度は十分な対策と備えが必要であるとの気象庁の発表がありました。日立市においても、注意喚起及び今後の備えについての緊急情報が発表されています。

当院は、日立市ハザードマップにおいて「津波浸水想定区域」に位置しています。

2011年3月11日の東日本大震災において、旧病院が津波被害を受けた教訓をもとに、①建物1階フロアの嵩上げ、②1階正面玄関と感染者入口(指定者入口)に防水板設置、③1階出入口各所に防水扉設置の津波浸水防止策を施した新病院へ2021年5月に移転しました。

病院内においても、定期的に防水板・防水扉の使用方法の確認、地震・津波を想定した訓練を行い、日中・夜間のいつでも避難対応を行うことができるよう万全の体制を整えています。

以上



正面玄関防水板



感染者入口
(指定者入口)
防水板



防水扉